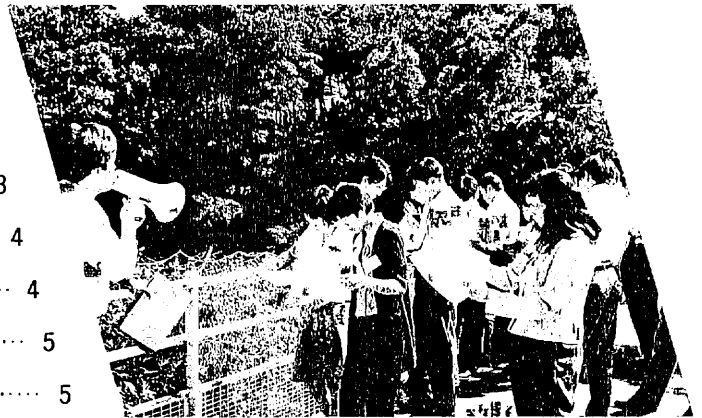


開設なった「教育ソフトウェア
ライブラリセンター」の検索試用風景

総合教育センターだより

◇ — も く じ — ◇

- ・ 所長あいさつ 1
- ・ 情報教育新時代への対応 2
- ・ 講座紹介 3
- ・ これからの公開講演一覧 4
- ・ 各研修部研究の紹介 4
- ・ 星の観察教室の案内 5
- ・ 教育相談のお知らせ 5



「地域素材を生かす社会科の授業 研修講座」より

平成10年7月15日発行

秋田県総合教育センター

〒010-0101 南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76
TEL 018(873)7200 (代表)
FAX 018(873)7201

すこやか電話相談 018(873)7206
インターネット接続 018(872)1065
学習指導案
レファレンスサービス 018(873)7210(FAX)
パソコン通信 018(873)7207

新しい教育課題に答え得るセンターを目指して



所長 伊藤 甫

教員としての原点を踏まえて

近代日本の教育の先覚に澤柳政太郎という人がいます。彼は文部省の文部次官をはじめ旧制一高・二高の校長、東北帝大・京都帝大の総長などを務め、後に実験学校を作り、大正期の新教育の実践に力を注いだ人です。彼は著書『教師及び校長論』において、「教育は教師が生徒に及ぼす影響である。学校のよしあしは全く教師その人の人物で定まるといってよい」と明言し、教育には教員の人格の陶冶が何よりも大切であるとしています。そして「師弟の関係をよくする方法としては教授法の改良を以て最も大切なりと信ずる」と分かる授業や学ぶ喜び・楽しさを感じさせる授業の展開が教師と生徒との信頼関係を深めること、更に「教師は学問を主とするものであり、その学問は日に進んで止まないから補修（＝研修）の必要は最も多い」と現職研修の必要性を力説しています。

本書は今から90余年も前のものですが、そこに述べられていることは現代に通ずる至言であり、教員の在り方についての原点を見る思いがします。教育公務員特例法によるまでもなく、教員は「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努め」自己変革を図っていかなければならないことは自明の理です。

ライフステージに応じた研修体系

総合教育センターでは「秋田県教職員研修体系」に基づき、それぞれのライフステージに応じて適切な時期に必要な研修が受けられるように努めています。

平成9年度の受講延人数は12,822人であり、これは県内の全教員が一人当たり1.2回受講したことに相当します。センターとしては、こうした受講者の研修への期待と意欲の高まりに応えられる魅力ある研修を提供すべく努力しているところです。一方、希望研修（C講座）の中には受講者数や校種に偏りの見られるものもあり、真に学校や受講者のニーズが反映されたものになっているか更に見直しが必要だと思っています。受講者の皆さんからもぜひそうしたご意見をお寄せいただきたいと思います。

今年度の新たな取り組み

教育の変革期を迎え、教員研修の更なる充実を期して今年度新たに取り組んでいる事業を紹介します。

その一つは、教育情報通信ネットワーク拠点「花まるっ教育ネットkna」の運用開始と活用についてです。この事業は文部省の地域指定を受けて昨年度から整備を進めてきたものですが、今年4月28日、オープニングセレモニーを行い正式に稼働しました。インターネットを活用し当センターのホームページにアクセスすることにより、県内のどの学校においても有用な教育情報が引き出せることになりました。「学習用検索エンジン」には10万件の学習情報を入力すべく全所あげて取り組んでいます。各学校においては授業等への活用について大いに研究して欲しいものです。

また、「教育用ソフトウェアライブラリセンター」も同時に所内にオープンしました。約2,000種類の学習指導用ソフトウェアを準備し、専用のパソコンで自由に検索や試用ができるようになっています。

二つ目は、「学校改善総合講座」（「生きる力」をはぐくむ学校教育）の開設についてです。この講座は教育改革の動向を踏まえて、時代の変化に対応した学校教育の改善や教員の意識改革を推進しようとするものです。受講申込者も多く、今後更に充実させていきたい分野です。

三つ目は、「社会貢献活動体験研修」の実施についてです。これは学校運営の中核となる10年経過教員を対象に、福祉、環境保護、ボランティアなどの社会貢献にかかわる活動を本人の希望によって選択し、二日間にわたり体験研修するものです。

このように、センターでは実践的指導力の一層の向上を目指し、新しい教育課題に答えられる教員研修の改善に取り組んでいるところです。

今秋までには中央教育審議会、教育課程審議会、教育職員養成審議会などの答申がそろい、教育界は大きな変革の時期を迎えます。——学校週5日制の完全実施を背景に、「個性」と「感性」を育む教育や「生きる力」を培う教育をどのように進めるのか。今こそ画一的な固定観念を捨て、柔軟な生徒観や指導観へと意識の転換を図るときです。これまで以上に変化への対応や将来を見通す幅広い視野、そして豊かな個性が求められています。そうしたことを見据えながら、「究める」「高める」「広める」「応える」総合教育センターとして、その役割を積極的に果たしていきたいと考えています。

情報教育新時代への対応



情報教育研修部長 木村 養市

「花まるっ教育ネットkna」の開設

平成9年度から整備を進めてきました「情報通信ネットワーク拠点」を愛称「花まるっ教育ネットkna」として4月28日に正式に運用を開始し、2か月が経過しました。総合教育センターのホームページへのアクセス回数は6月30日現在、13,275回となっております。平成7年6月に再出発したパソコン通信「教育ネットAkita」は「拠点」整備のため運用を停止するまでの2年6か月間で51,298回、1か月平均約1,700回のアクセスがありましたが、今春インターネットへ移行してからは、その数倍のアクセス回数となっております。これは、テキストベースのパソコン通信に比べ、インターネットはビジュアルな画面構成で情報量が多いことや当センターが脱プロバイダー化を目指した「拠点」の整備を進めてきたことに起因するものと思っております。当センターでは脱プロバイダー化を目指して、下記の機能を重視したホームページをつくっております。

1. 学習用検索エンジン (e-search)

キーワード入力で学習に適したホームページの一覧を表示し、必要なホームページにアクセスできる検索エンジンを構築しました。現在、指導主事がURLを登録しており、その数は14,000件になりました。

2. 学習用リンク集 (e-link)

官公庁や県内の学校など頻繁にアクセスするホームページの一覧をジャンル別に表示し、ここから必要とするホームページへジャンプできるようにしました。

新たにホームページを立ち上げた学校はURLをセンターへお知らせください。

学習用検索エンジンと学習用リンク集を有効に活用することにより、一般の検索エンジンを使用する場合に比べ、有害情報から児童生徒を遠ざけることができるものと思っております。

その他、当センターを経由してインターネットへ接続した時のサービスは、次のようにしております。

1. 電子メール

ダイアルアップで利用する場合、当センターにメールボックスを作り、電子メールの受発信を行うことができるようにしました。

2. ホームページの代理公開

申請により、センターのWWWサーバー上に10Mbyteまでの範囲で、学校のホームページを置くことができます。現在、16校が利用しております。

メール、ホームページ代理公開など当センターが提供しているサービスについては、先に各学校へ配布した活用マニュアルをご覧ください。

「教育用ソフトウェアライブラリセンター」の開設

当センター1階、総合資料室に開設して以来、試用されたソフトウェアの種類は、延べ385本となっております。研修講座で来所された先生方の利用が主となっております。現在、収集・展示してあるソフトウェア数はドリル学習型ソフト429本、解説指導型ソフト482本、シミュレーション型ソフト260本を始めデータベースソフト、図形作成ソフト、学校運営・管理ソフトなど1,925種類、2,388本となっております。

教育用ソフトウェアライブラリセンターは午前10時から午後4時まで開いております。この時間帯は自由にご利用いただけます。学習指導などに必要なソフトウェアを的確に選定するため、是非、来所して試用いただきたいと思っております。また、当センターのホームページでも二次情報(タイトル、著作権者、ねらいなど)を提供しておりますのでご利用下さい。

高度情報通信社会に対応した研修講座の充実

文部省は公立学校について2003年までに、すべての学校をインターネットに接続することを骨子とした「インターネット接続整備計画」を発表しました。この計画が完了する時期は、新しい学習指導要領が実施される時期と重なります。新学習指導要領では「教育課程審議会」の中間まとめで発表された「情報教育の充実」が組み込まれるものと予想されます。

情報教育研修部では、このような背景のもと、各学校に導入された機器の管理・指導ができる教員の不足を解消し、インターネットの活用を含む情報教育を一層推進するため、B講座(専門講座)に「学習に活用するインターネット」を新設しました。この講座を受講された先生方を中心にして地域や学校で、インターネットの教育への利用が広がってくれればと願っています。また、学校によってはLAN接続をしている学校もありますので、校内ネットワークのメンテナンスのできる教職員の養成も必要です。それについては講座「Windowsとネットワーク」の中で対応を図っています。





各研修部の特色ある研修講座の中で、まだ追加申込みが可能な研修講座の一部を紹介します。

【教職研修部】

- 「生きる力」をはぐくむ学校教育
C59 (8月5日)
学校改善総合講座と位置付けたこの研修講座は、近年の教育改革の動向をさぐるとともに、変化の時代に対応した学校改革や生きる力をはぐくむ学校教育の在り方について研修するものであり、シンポジウムや講義・協議（選択研修）、前文部省教科調査官の横山利弘先生の講話などを予定しています。
定員（100名）は越えていますが、希望者については受け付けますのでお早めに申し込み下さい。
- 魅力ある学級活動・ホームルーム活動を目指して
C54 (8月19日)
児童生徒の意識が多様化してきているなかで、学級活動やホームルーム活動を中心とした特別活動の果たす役割は年々、大きくなっています。こうしたなかで、特別活動の指導の在り方と学級経営・ホームルーム経営の進め方等についての研修を深めることを目的としたものです。今年度から、高等学校も対象校種としています。

【教科研修部】

- 果てしなき宇宙探訪—天体観察中級—
C45 (9月17日～18日)
15cm屈折式赤道儀天体望遠鏡等を利用した天体観察を通して、大いなる星空の世界について研修します。
講師として、本荘市立北中学校の佐藤智幸先生を招き、天体観察の楽しさ、天文に関する学習指導の工夫について講義、協議を行うほか、天体望遠鏡等を活用した惑星・星雲などの観察、天文学習に関するパソコンの実習を行います。
- 考える心を育てる数学の授業
C12 (10月29日～30日)
29日午前の講話「今日の数学教育学の研究成果から学ぶ」では秋田大学教授の湊 三郎先生を、30日午後の講話「考える心を育てる数学の授業」では、筑波大学教授（教育課程審議会 数学専門委員）の能田伸彦先生を講師に予定しています。さらに講座では、「数学のよさが分かる指導の工夫」、「個に応じた指導の在り方の工夫」、「評価の在り方」について研修を深めます。課題によっては、中・高合同で協議・情報交換を行う場も計画しています。

【情報教育研修部】

- 触れてみるパソコン（移動講座）北地区
C66 (8月6日～7日)
この講座では、初めてコンピュータに触れる方を対象に、パソコンを有効に活用するための基礎的な知識・技能について研修します。また、インターネットを始めるために必要な機器や接続・設定方法についても触れます。
本年度の北地区は大館商業高等学校を会場に行います。
- パソコンで模型を動かそう
C76 (10月27日～28日)
全校種の教職員を対象にしたこの講座は、パソコンによる計測と制御の基礎的な知識・技能について研修することを目的としています。実習では、LEGOで模型を作成し、簡単な日本語入力でプログラムできるLOGOを用い、その模型を動かします。
模型に興味のある方やLOGOの研修を行いたい方には、よい機会です。

【特殊教育・相談研修部】

- 事例研究 一問題行動—
C84 (I期7月23日、II期10月27日)
学校教育における重要課題のひとつである「いじめ」問題と昨今の複雑化した「非行」問題に焦点を当て、それらに関する理解と具体的な指導の在り方について研修を深める講座です。中央児童相談所員とスクールカウンセラーの講話、持参した事例についての協議を予定しています。
- 言語障害児の理解と指導
C90 (7月30日～31日)
ことばに障害のある子どもたちについての基礎的な事項をふまえた上で、指導計画の立て方や、構音障害に関した指導の実践を演習を通して研修します。
- 幼児教育と自然・環境～小泉瀉公園～
C92 (10月7日)
小泉瀉公園周辺の秋を探索し、自然体験等の実際について研修する講座です。幼児の指導のみならず、小学校での生活科や理科指導にも役立つ内容です。

平成10年度 これからの公開講演一覧

月日 (曜日)	時刻	演 題	所 属・職 名	講 師 名	
10月6日 (火)	10:00 ~12:00	学習指導と評価	東京女子体育大学 教授	尾木 和英	
11月10日 (火)	12:45 ~14:15	これからの学校教育と学校評価の在り方	国立教育研究所教 育経営研究室長	木岡 一明	
11月5日 (木)	14:30 ~16:00	教職と人生シリーズ ふるさと探訪—秋田の地名—	秋田工業高等専門 学校名誉教授	斉藤 葆	
11月11日 (水)	12:45 ~15:00		私の生涯学習—シャンソンと私—	日本シャンソン協 会理事	黒崎 昭二
12月1日 (火)	14:30 ~16:00		生きる力の育成とこれからの教育の在り方	東京学芸大学教授	児島 邦宏

*聴講希望者は、総合教育センター研修講座案内104ページの公開講演「聴講申込書」(様式5)に必要な事項を記入の上、開催日の1週間前までに申し込んでください。

各研修部研究の紹介

基本研究課題 「一人一人の思いをはぐくみ、豊かで特色ある学校の創造」

(1) 教職研修部

研 究 課 題	研 究 内 容
社会の変化に対応した「開かれた学校」の在り方	・「開かれた学校」を創造することの意義を明らかにする ・学校の活性化を目指した「開かれた学校」の在り方を探る

(2) 教科研修部

研 究 課 題	研 究 内 容
一人一人の学びが高まる「学び合い活動」の在り方	・各教科における「学び合い活動」の現状と課題を明確にする ・各教科の「学び合い活動」の望ましい在り方について考察する

(3) 情報教育研修部

研 究 課 題	研 究 内 容
児童生徒の主体的な学習活動を促進するインターネット活用の在り方	・情報通信ネットワーク拠点の活用の在り方を提示する ・学習活動におけるインターネット活用の在り方を探る

(4) 特殊教育・相談研修部

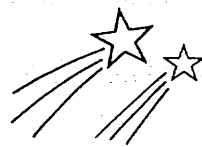
研 究 課 題	研 究 内 容
タイプや状態に応じた不登校児童生徒への対応	・不登校児童生徒のとらえ方について新たな視点を提示する ・不登校児童生徒の状態に応じた学校の対応の在り方を探る

研究成果の発表

第13回秋田県教育研究発表会：平成11年2月9日(火)~10日(水)、会場：秋田県総合教育センター

親と子を
対象とした

★星の観察教室★

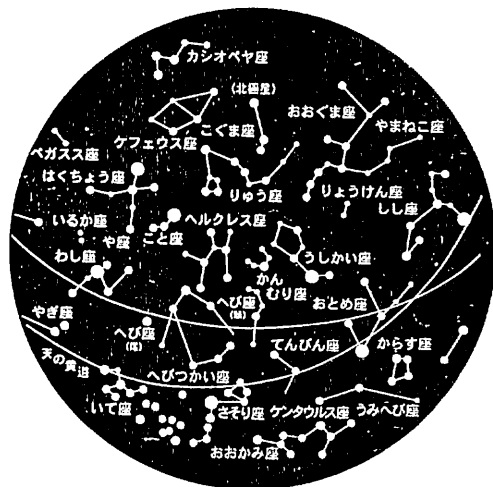


総合教育センターでは、8月19日(水)と20日(木)の両日、「星の観察教室」を開催します。この機会に、天体望遠鏡等を活用して、たっぷり星空に親しんでいただきたいと思います。申込みは必要ありません。皆様のおいでをお待ちしております。なお、各学校では児童生徒や保護者の方々に紹介して下さるようお願いいたします。

- 対象
小・中学校の児童生徒と保護者
- 期日と開催時間
8月19日(水)、20日(木)の2日間
午後7時から午後9時まで
- 受付場所
総合教育センター駐車場に受付場所を設置します。

- * 駐車場からの星空の観察が中心となりますが、15cm屈折天体望遠鏡も利用します。
- * 雨天や曇天で星を観察することができない場合には、プラネタリウム学習会などに変更します。
- * 夜間の天文教室ですので、小学生の場合は、必ず大人の方と一緒に参加してください。

夏の美しい星空を見上げ、果てしない宇宙のすばらしさにたっぷり浸ってみませんか!



教育相談

気がかりなとき、困ったとき、指導や対応のヒントが必要なとき、ご利用ください。

総合教育センターでは、学校等との連携を大切にしながら相談活動の充実に努めております。次のようなことで「気がかりであったり」「困っていたり」「指導のヒントが必要になったり」したとき、ご連絡ください。また、同じような内容で援助を必要としている保護者にもご紹介ください。

相談の内容

- ・ことばの発達 ・心やからだの発達 ・就学や進路 ・障害児の学習指導
- ・不登校 ・いじめ ・情緒不安定 ・学習についての悩み
- ・発達診断等の諸検査 ・相談機関等の紹介

来所相談



☎018-873-7205 (月～金 午前9時～午後4時)

<電話で申し込んでください。>

- ・子供、先生や保護者との面接相談をします。
- ・子供の状態に応じて、カウンセリングや検査等を行います。
- ・相談は1回につき1時間程度です。

電話相談

☎018-873-7206 (月～金 午前9時～午後4時)

(フリーダイヤル 0120-377-804)